



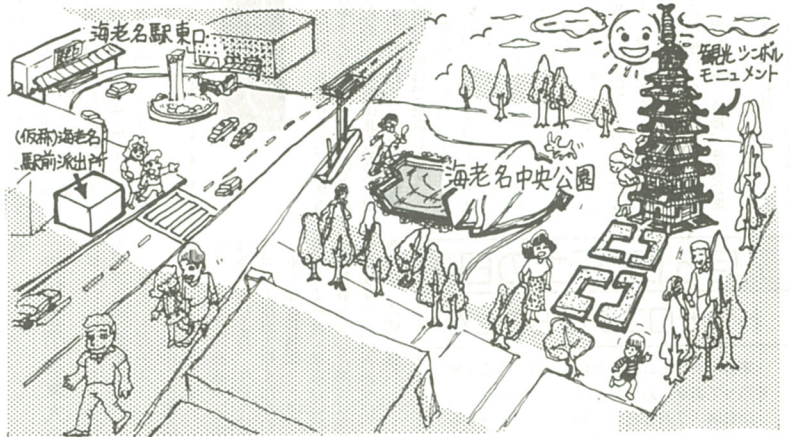
広報 えびな

編集・発行
海老名市役所広報広聴課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎ (0462) 31・2111

駅前風景が変わります



▲観光シンボルモニュメントとして海老名中央公園内に建設される「七重の塔(完成予想図)」



観光シンボルモニュメント

市の顔である海老名駅前に観光シンボルモニュメントと(仮称)海老名駅前派出所が設置されます。シンボルモニュメントは、「相模国分寺七重の塔」を模したもので、文字通り郷土の歴史と文化を象徴しています。また、駅前派出所は以前から多くの方々に望まれていましたが、今後の駅前整備に先駆けて設置されることになりました。これらの建物は今年12月までに完成する予定です。

海老名駅東口の憩いの場として、多くの人々に利用されている海老名中央公園に、観光シンボルモニュメント七重の塔が建設されることになりました。このモニュメントは、相模国

七重の塔を建設

分寺の七重の塔を模倣し、実際の約三分の一の大きさで、重量鉄骨一部コンクリート造り、高さは約二十二メートル、基礎は一边が十メートル四方でミカゲ張り、高欄は朱色を主体とし、屋根は銅板葺



派出所が設置される海老名駅東口

駅周辺の犯罪と事故防止へ

待望の派出所設置

市の玄関口である海老名駅前に派出所の設置を——という要望が、多くの市民のみならず「一市長への手紙」などを通じて寄せられていたが、このほど、念願の(仮称)海老名駅前派出所が、同駅東口三菱銀行隣に設置されることになりました。

この派出所は、異道横断歩道線沿いにある同分派出所(中央18号)が、駅から遠く離れて不便なため、市民のみならずの要望にこたえ、神奈川県警察本部が移転するとしていたものを建設される派出所は、鉄骨造り二階建て、延べ床面積は五十五平方メートル。今年八月に着工し十二月に完成する予定です。この派出所が海老名駅前に設置されることで、座間署外動課員十一人が交代勤務し、駅周辺の犯罪と交通事故の防止に努めることとなります。

この一観光シンボルモニュメントは海老名市観光協会が主体となつて建設します。同協会では、「海老名には、顔。がない」とよく言われますが、私たちの郷土には他市に誇れる歴史と文化があります。奈良時代に建立されていたといわれる相模国

相模国分寺

相模国分寺は、天平十三年(七四一年)聖武天皇の詔勅で、海老名に建立されました。同寺の境内には、七重の塔があったと伝えられていますが、その後の天災や兵乱のため当時の相模国分寺の偉容と主要伽藍は消滅し、現在では大きな礎石によって昔をしのぶばかりありません。なお、七重の塔の基礎は一边が二十・四メートル、高さは約六十五メートルと推定されていますが、その復元模型は、本堂などとともに市温感館に展示されています。

分寺の七重の塔をシンボルモニュメントとすることで、海老名を訪れる多くの人に、その歴史と文化を知ってもらえたら……と話しています。このモニュメントは今年十一月に完成する予定です。

子供たちの

帰宅後の行動は

大半が家で学習

勉強をしているか

帰宅してから就寝までの間、子供たちはどんな過ごし方をしているのかを、項目別に調査しました。

各学年とも九〇%の児童・生徒が「勉強している」と答えており、学習に費やす平均時間は小学校低学年が四十七分、高学年が四十九分、中学生は四十六分と、学年が上がるにつれて増えています。これを十四年前と比較すると学習時間はどの学年も増えています。特に小学六年生の平均時間は五十六分の増となっています。小学生の九〇%、中学



男子より女子の方が多い
お手伝いの時間は

放課後は
部活動

帰宅してか

男女の差表れた

お手伝いの平均時間

生の八〇%が「家で勉強した」と答えており、その平均時間は小学校低学年が三十分、高学年三十七分、中学生は三十四分です。

「家で勉強した」と回答した児童・生徒は、小学校低学年で四四%、高学年一七%、中学生一七%、高学年一七%、十四年前の回答と比較すると低学年で二・八倍、高学年二倍、中学生は四倍にもなっています。

男子の六〇%、女子の八〇%が「何かしらのお手伝いをして」と回答しており、十四年前と比較すると、お手伝いをする男子と女子との差が縮まってきました。しかし、部活動などで時間の余裕が少ないためか、中学生になるとお手伝いをする割合が減少し、特に中学三年生男子生徒の割合が目立って低いのは、十四年前も変わっていません。

男子の六〇%、女子の八〇%が「何かしらのお手伝いをして」と回答しており、十四年前と比較すると、お手伝いをする男子と女子との差が縮まってきました。しかし、部活動などで時間の余裕が少ないためか、中学生になるとお手伝いをする割合が減少し、特に中学三年生男子生徒の割合が目立って低いのは、十四年前も変わっていません。

時間は100分前後

増加した割合

習いごとをしている児童・生徒の割合は小学校低学年が四四%、高学年三七%、中学生が二

習いごとをしている児童・生徒の割合は小学校低学年が四四%、高学年三七%、中学生が二

24時間

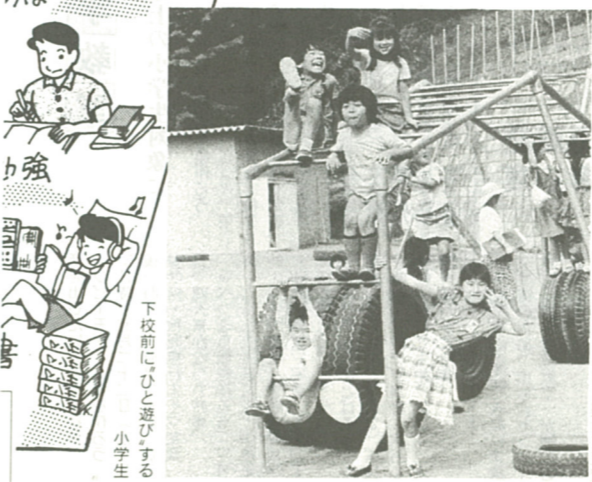
児童・生徒の意識調査結果

市内の小中学生は、朝起きてから夜寝るまでのような日常生活を過ごしているのかを、市教育センターの調査部門である教育調査研究会が実態調査を行いました。同委員会では昭和五十二年にも同様の調査を行っていますが、今回の調査は、十四年前の調査報告と比較することで、現代の日常生活をより明確化させることを試みています。その結果、学習、習いごと、家事の手伝い、遊びなどに費やす時間は十四年前より増えているが、こうした生活時間の増加は睡眠時間の削減につながっている。また、遊びの内容も集団から孤立型の性格が強い遊びが増えているとなどがわかりました。今回は、この調査研究について紹介します。

余裕ある朝の生活



朝起きてから家を出るまでの時間は、小学一年生の場合、六十分と答える児童が一番多く、かなりゆとりを持った朝の生活をしていることがわかりました。二年生になると、学校生活に慣れたためか、四十分と



下校前ひと遊びする小学生

このことから、小学生の大半が授業終了後まず下校し、下校後、帰宅してから夜寝るまでの時間は、小学生は六時間から七時間、中学生は五時間から七時間、という回答が一番多くありました。しかし、小学六年生の場合六時間から八時間、中学三年生の場合八時間から十時間以上の割合が増えています。六年生は放課までの時間が増えたこと、また、中学三年生は部活動から退いたため時間が増えたことが伺えます。

十四年前の調査結果では、小学生の場合、高学年になるほど時間が短くなる傾向がありましたが、今回の調査は、こうした生活時間の増大は、社会や家庭環境の変化によるものと思われるが、同時に一日の睡眠時間が短かくなっているという結果を示しています。

部活以外は早めに下校

放課後、どのくらい学校に残ったかの設問に対し、小学生の多くが「零分」または「三十分」と答えています。三十分以上と回答した小学生が、中学一年生の六〇%に対し、中学一、二年生の六〇%が七〇%が三十分以上、回答しています。しかし、中学三年生になると三十分以上残る生徒は二〇%から三〇%に減っています。

このことから、小学生の大半が授業終了後まず下校し、下校後、帰宅してから夜寝るまでの時間は、小学生は六時間から七時間、中学生は五時間から七時間、という回答が一番多くありました。しかし、小学六年生の場合六時間から八時間、中学三年生の場合八時間から十時間以上の割合が増えています。六年生は放課までの時間が増えたこと、また、中学三年生は部活動から退いたため時間が増えたことが伺えます。

十四年前の調査結果では、小学生の場合、高学年になるほど時間が短くなる傾向がありましたが、今回の調査は、こうした生活時間の増大は、社会や家庭環境の変化によるものと思われるが、同時に一日の睡眠時間が短かくなっているという結果を示しています。

睡眠時間が削られて

下校後、帰宅してから夜寝るまでの時間は、小学生は六時間から七時間、中学生は五時間から七時間、という回答が一番多くありました。しかし、小学六年生の場合六時間から八時間、中学三年生の場合八時間から十時間以上の割合が増えています。六年生は放課までの時間が増えたこと、また、中学三年生は部活動から退いたため時間が増えたことが伺えます。

十四年前の調査結果では、小学生の場合、高学年になるほど時間が短くなる傾向がありましたが、今回の調査は、こうした生活時間の増大は、社会や家庭環境の変化によるものと思われるが、同時に一日の睡眠時間が短かくなっているという結果を示しています。

7月の相談

相談名	相談日	時間	場所
市民生活全般の相談や、市政に関する要望があるとき	毎日	8:30~17:00	市民相談室
法律問題で弁護士に相談したいとき	毎日	8:30~17:00	市民相談室
消費生活全般にわたる相談したいとき	水曜日	10:00~16:00	消費生活センター
登記について知りたいとき	9日	9:00~16:00	市民相談室
不動産に関する相談をしたいとき	14日	13:00~16:00	市民相談室
近隣騒音・相続などについて相談したいとき	10日	13:00~16:00	市民相談室
見やき・市などの仕事に意欲があるとき	24日	10:00~16:00	市民相談室
年金について知りたいとき	21日	10:00~16:00	市民相談室
婦人のいろいろな悩みについて相談したいとき	2日	10:00~16:00	市民相談室
相談に関するお問い合わせ	18日	10:00~16:00	市民相談室
住宅の増改築について相談したいとき	4日	12:00~16:00	市民相談室
高齢者の就業や生活について相談したいとき	毎日	9:00~16:00	市民相談室
ボランティア活動について相談したいとき	毎日	9:00~16:00	市民相談室
お子さんの登校拒否などの教育について相談したいとき	毎日	9:00~16:00	教育センター
お子さんの発達障害などのお子さんの発達について相談したいとき	毎日	9:00~16:00	教育センター
お子さんの学習について相談したいとき	毎日	9:00~16:00	教育センター
お子さんの進路について相談したいとき	毎日	9:00~16:00	教育センター

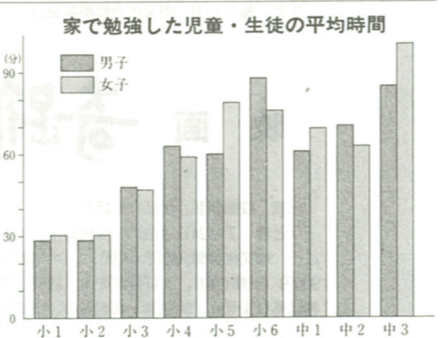
進む室内化

増加した遊びの内容

遊びに費やす平均時間は男子が百五十分、女子が百二十分で、高学年になるほど遊び時間は短かくなりますが、それでも十四年前と比較すると、どの学年もおおむね四十分から六十分と大幅に増えています。勉強や部活などに忙しい子供たちは意外と、たくましく遊んでいることがわかります。

遊び場所は室内が主流です。「遊ぶ場所は室内」という回答が多かった十四年前に比べ、今回は「家の中心」という回答が占め、五七%、女子が六三%を占め、遊びの室内化が進んでいることがわかります。

また、遊ぶときは「二人以上で遊ぶ」という回答が二、二人から五人にむかひが増えています。中学生になると一人遊びの割合が増え、一人もしくは二人で室内遊びをする子供たちの増加が伺えます。



ながら族も多い

テレビ・ラジオの視聴

テレビ・ラジオの平均視聴時間は二時間でしたが、テレビは二時間以上、ラジオは二時間以上という回答が多くなりました。また、ラジオは「ながら族」が増えています。中学生になると一人もしくは二人で室内遊びをする子供たちの増加が伺えます。



テレビゲームは遊びの人気ナンバーワン

7月1日から17日の自動車文庫

巡回場所	巡回日	時間
今里八幡宮	7月1日	午後3:30~4:00
大谷コミュニティセンター	7月2日	午後2:30~3:10
相模川コミュニティセンター	7月3日	午後3:00~4:00
柏ヶ谷第2児童公園	7月4日	午後3:00~4:00
かしわ台児童公園	7月5日	午後3:00~4:00
門沢児童公園	7月6日	午後3:00~4:00
神奈川児童センター	7月7日	午後3:00~4:00
上今里第2児童公園	7月8日	午後3:00~4:00
国分寺第4児童公園	7月9日	午後3:00~4:00
さきい幼稚園児童遊園地	7月10日	午後3:00~4:00
下今里テニスコート	7月11日	午後3:00~4:00
社家児童公園	7月12日	午後3:00~4:00
杉久保第2児童公園	7月13日	午後3:00~4:00
杉久保児童公園	7月14日	午後3:00~4:00
中野自治会館	7月15日	午後3:00~4:00
浜田歴史公園	7月16日	午後3:00~4:00
東柏ヶ谷4丁目自治会館	7月17日	午後3:00~4:00
本郷児童館	7月18日	午後2:30~3:00
望地道上公園	7月19日	午後3:20~4:00

フォトピックス

出水期に備えて

消防団員が水防訓練
出水期を前にした五月三十一日、市役所西側の雑草広場で水



土のう積み訓練を受ける消防団員

防訓練が行われ、十五分団約二百人の消防団員が参加した。梅雨や台風などによる川の増水を想定したこの訓練では、土のう作りや土のう積みも六班に分かれて実施したほか、シートを土手の斜面に張って水の浸透を防ぐシート張りや重りをつけて樹木を川に投げ入れて流れを弱める木流しなどの水防技術を学んだ。



可燃ごみ1トン、不燃ごみ500kgを収集

今年、天然をそした稚アユの数が例年になく多く魚影も濃いため、どのポイントでも釣果は上々で、幸先の良いスタート



釣り人にてきわむ相模川

釣果は上々

相模川のアユ解禁
太公望たちが待ち望んでいたアユ漁が六月一日、県内で一斉に解禁となり相模川水系には約一万二千人が詰めかけた。

相模川、中津川、小鉢川の三川台流地点付近では、徹夜組を含めた釣り人が夜明け一時間前の解禁と同時に川に入り、アユ釣りを楽しんでいた。

約800人が参加

相模川美化キャンペーン

清潔で美しい環境を築き、美化清掃を通して市民の美化意識の高揚を図ると、五月二十四日、河原口地区相模川河川敷で同キャンペーンが行われた。

各種団体、地域住民など約八百人が参加し、河野公園から小田急線橋下までのごみの収集を行い、一時間で可燃ごみ一トン、不燃ごみ五百kg、びんなど資源物と、なごみの二十kgを収集した。

名花50点を展示

市役所でさつき展

五月三十、三十一日の両日、市役所一階ロビーで「第十二回さつき展」が開催された。

会場には、市さつき研究会(古郡有正会長、30人の会員が丹精込めて育てたサツキ盆栽約五十点が展示され、来場した人たちの目を惹きました。展示のほか、サツキ苗・盆栽の即売、栽培指導、サツキ栽培ビデオの公



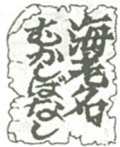
美しい花が来場者を魅了

- ▼日本車月協会展賞・恩賜賞
枝井上利雄▼銘木の部 市長賞・古郡美智子、議長賞・古郡有正、金賞・増田孝好▼中盆の部 金賞・岡島重正▼若木の部 金賞・伊達武
- ▼人気投票の部
会長賞・新開信治郎、金賞・金子令子▼観枝花の部 会長賞・増田孝好。

海老名むかしむかし

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。

6月3日～6月17日 第115話 幻の梵鐘
6月18日～7月2日 第116話 村に7駅日本一



第282話 麦打ち歌

「嫌だ節」

私が子供のころ、近くの老夫婦がいつも面白い話を聞かせてくれた。二人も奉行してき村内の同じ農家にも奉じていたのだそう、古いことや地元のことなど何でもよく知っていた。

「嫌だ節」は、昔話などたくさん聞かされた。よく覚えていた。嫌だ節は、昔話などたくさん聞かされた。よく覚えていた。嫌だ節は、昔話などたくさん聞かされた。よく覚えていた。



「嫌だ節」は、昔話などたくさん聞かされた。よく覚えていた。嫌だ節は、昔話などたくさん聞かされた。よく覚えていた。

私の子供のころ、近くの老夫婦がいつも面白い話を聞かせてくれた。二人も奉行してき村内の同じ農家にも奉じていたのだそう、古いことや地元のことなど何でもよく知っていた。

「嫌だ節」は、昔話などたくさん聞かされた。よく覚えていた。嫌だ節は、昔話などたくさん聞かされた。よく覚えていた。

「嫌だ節」は、昔話などたくさん聞かされた。よく覚えていた。嫌だ節は、昔話などたくさん聞かされた。よく覚えていた。